

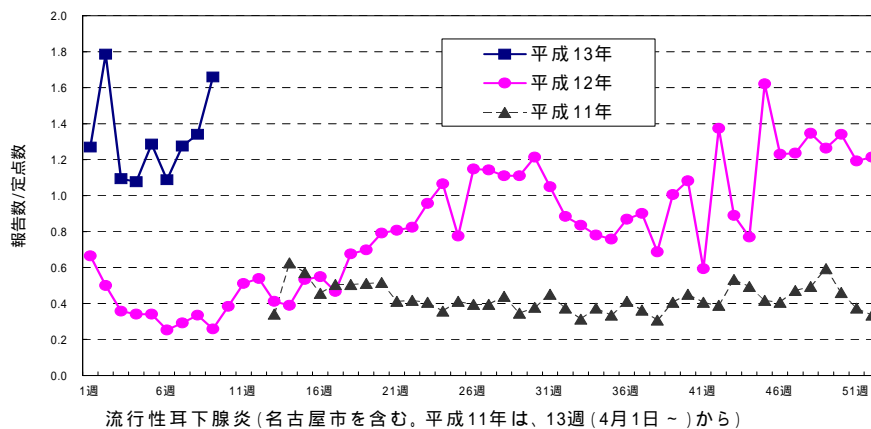
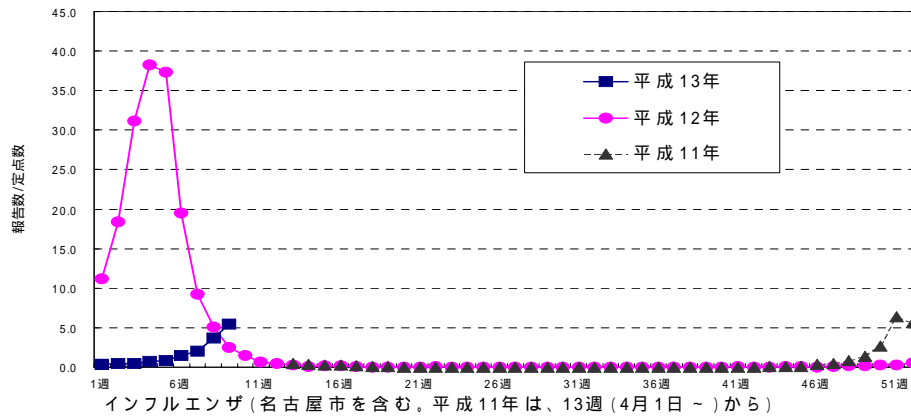
愛知県感染症情報

平成 13 年第 9 週（2 月第 4 週）

（コメント）

インフルエンザは、流行期に入ったので注意してください。インフルエンザについての詳しい説明については、愛知県衛生研究所のホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。

感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、依然報告数の多い状況が続いています。



（先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ FluA* (±)、熱性けいれんあり 1 歳男

インフルエンザ 親子例 3 家族あり（母親と子供 4 人の例あり）

咽頭発赤の強い インフルエンザ様疾患多い、FluA (-) で CRP は軽度陽性、高熱 (39) 持続し入院例あり

（一宮市 あさのこどもクリニック）

注) FluA* : A型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。

- ・ インフルエンザOIA*で陽性（男5歳、女4歳と3歳）
ムンプスのワクチン接種歴あり（流行性耳下腺炎患者） 11歳女
（一宮市 後藤小児科）
注）OIA*：A・B型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。ただしA・B型の区別はできない。
- ・ インフルエンザはアマンタジン*¹の無効例が時々みられる。
（一宮市 ささい小児科）
- ・ 病原性大腸菌感染者 O-1（2歳男2名、3歳女、12歳男）、O-6
4歳女、O-25 13歳女
マイコプラズマ肺炎 5歳女
麻疹 ワクチン未接種者 1歳男に発生
（尾西市 城後小児科）
- ・ インフルエンザ 4歳男 FluA（+）は第2病日でしたがシンメトレル*²無効でした。
（江南市 河野小児科）
注）アマンタジン*¹（一般名）シンメトレル*²（商品名）：A型インフルエンザ治療薬
- ・ インフルエンザ A型小流行あり。南小2の3学級閉鎖ほとんどの症例アマンタジンが著効。その他ムンプス大流行のまま。
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ 感染性胃腸炎の流行が続いています。インフルエンザが増加してきました。（12名インフルエンザOIA（+））
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ 11歳女 2月27日 IgMHA（+）A型肝炎でした。
（犬山市 武内医院）
- ・ 水痘 45歳男
（師勝町 師勝クリニック）
- ・ インフルエンザ減少
（新川町 三輪医院）
- 尾張東部地区
 - ・ A型インフルエンザは8名ですが、いずれも散発です。
カンピロバクター腸炎 7歳女
マイコプラズマ肺炎 9歳女
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
 - ・ 今週に入ってインフルエンザが増加しました。（成人4名、中学生3名、幼児2名）全てFluAあるいはOIA陽性。いずれの症例もアマンタジン効果あり。

その他、水痘、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑等散発。

(尾張旭市 佐伯小児科医院)

- ・ 水痘 - 2 回目の児あり インフルエンザ様疾患 - ぼつぼつ増加傾向

(半田市 林医院)

- ・ 中学生 1 クラスでインフルエンザ集団発生

(南知多町 医療法人大岩医院)

- ・ 今週に入ってインフルエンザ OIA 陽性の患者発生

(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)

- ・ 今週は大人のムンプス(母親)がありました。インフルエンザもみられました。

(春日井市 かちがわ北病院)

- ・ インフルエンザがやや増加しました。

(小牧市 志水こどもクリニック)

- ・ インフルエンザ小流行。ロタ胃腸炎減少。

(小牧市 小牧市民病院)

● 西三河地区

- ・ 伝染性紅斑と水痘は増加、インフルエンザ患者はなし

(豊田市 やふそ小児科)

- ・ 病原大腸菌 0-18 1 歳男

ディレクテジョン Flua 陽性(1 歳男 1 歳女 3 歳男 2 歳女
3 歳女 3 ヶ月女 7 歳男 8 ヶ月女 4 歳男)

マイコプラズマ肺炎 1 歳女

インフルエンザ 6 歳女(妹が Flua 陽性)

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

- ・ 4 歳男ロタウイルス 2 歳男ロタウイルス この 2 名は表には入っていない。9 歳麻疹はワクチン未接種

(岡崎市 深田小児科)

- ・ カンピロバクター 16 歳、マイコプラズマ肺炎 6 歳

インフルエンザ(OIA(+)) 散発中

(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ Flua(+)(8 歳男、6 歳男)

(岡崎市 にいのみ小児科)

- ・ カンピロバクター 3 歳男

A 型インフルエンザ(Flua 陽性) 2 歳男 B 型インフルエンザ
(OIA 陽性, Flua 陰性) 31 歳女

(幸田町 とみた小児科)

- ・ FlUA (+) 3 名、FlUA (-) OIA (+) 1 名、FlUA (-) OIA (±) 2 名、検査なし 1 名
(岡崎市 粟屋医院)
- ・ FlUA (+) の方です。
(岡崎市 永坂内科医院)
- ・ 乳幼児の嘔吐、下痢が目立ちます。(ロタ陽性例もある)
インフルエンザ (FlUA (+)) 増加してきましたが、流行という程ではありません。
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ インフルエンザ FlUA (+) 3 歳
(刈谷市 田和小児科医院)
- ・ 乳児の下痢、幼児～学童の嘔吐が多い。Flu A 陽性例 1 名。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 胃腸カゼは減少傾向です。
(西尾市 山岸クリニック)

● 東三河地区

- ・ インフルエンザ 75 名は全て A クイック^{*1}、陽性者 (全て鼻腔で検査) とその家族です。
シンメトレルは約 1 割無効例あり (5 ~ 6 名)。
タミフル^{*2}は全例有効 (薬 10 名)
注) A クイック^{*1} : A 型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種
タミフル^{*2} : A・B 型インフルエンザ治療薬
(豊橋市 野村小児科)
- ・ インフルエンザ若干増加
(蒲郡市 蒲郡市民病院)
- ・ インフルエンザ様疾患が目立ってきました。
(田原町 かわせ小児科)

(1 ~ 3 類感染症の発生状況)

細菌性赤痢患者 2 名。

- ・ 豊川保健所から報告の 21 歳女。2/23 発病、3/1 初診、3/3 診定。
菌型は、ゾンネ 相。タイ渡航歴あり。
- ・ 安城保健所から報告の 27 歳女。2/21 発病、3/2 初診、3/4 診定。
菌型は、ゾンネ 相。ネパール及びインドに渡航歴あり。

(全数把握の4類感染症の発生状況)

無症候梅毒患者1名。

● 病原体検出情報

江南保健所管内の患者から2月26日採取の検体(咽頭拭い液)からB型インフルエンザウイルスが検出されました

第7週(平成13年2月12日~2月18日)の4類感染症の全国状況
感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が例年にくらべかなり多くなっている。感染性胃腸炎は宮崎県で定点当たり報告数21、宮城県と広島県で18、石川県で17と多くなっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は栃木県で定点当たり報告数6.4と多い。流行性耳下腺炎と水痘も過去5年の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。流行性耳下腺炎は福井県で定点当たり報告数6.9、熊本県で5.7と多くなっている。水痘は宮崎県と沖縄県で定点当たり報告数6.0、佐賀県で4.0と報告が多くなっている。麻疹は例年の同時期とくらべ定点当たり報告数がやや多く、高知県では定点当たり報告数が2.9、大分県で2.3となっている。インフルエンザは全国平均の定点当たり報告数が2.8であった。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)